

## 令和7年度 主要な事業実施報告

事業名	説明
<b>観光情報誌作成</b> <b>市街地観光マップ作成</b> (砂楽広告・宣伝業務委託) (指宿市観光協会HP開設事業)	<p>本市の観光スポットや交通アクセス、旬のイベント等を広く情報発信するため、観光情報誌及び市街地マップを作成した。県、市をはじめ関係機関等と連携しながら、国内主要旅行会社等への広報宣伝媒体として活用し、本市観光の認知度向上を図った。</p> <p>また、本市を訪れる観光客や滞在客への道標として、誘客促進及び観光客の利便性向上を目的に、観光情報誌及び市街地マップを作成した。なお、本年度も昨年度に引き続き、A5サイズを採用した。</p> <p>◆市街地イラストマップの作成            (令和8年3月/日本語版45,000部発行)</p> <p>◆観光情報誌「アロハ通信 No.54」の発行            (令和8年3月/各30,000部発行)</p> <p>さらに、当協会では「いぶすき観光ネット」との連携を前提としながら、会員向け情報発信機能の強化を図り、観光事業者や会員、情報を必要とする方々に対して、より分かりやすく、タイムリーかつ魅力的な情報提供を行う仕組みの構築を進めた。これに伴い、新たなホームページを開設した。</p> <p>◆指宿市観光協会ホームページ            (令和8年2月公開)</p>
<b>指宿観光宣伝誘致促進事業</b> ・指宿観光セールス事業 (指宿市受託事業)	<p>今年度の指宿観光セールス事業は、継続的なセールス活動を図る為、主要都市の旅行会社やマスコミ等の訪問を中心に、近隣で最も市場が大きい福岡市内と関東・関西地区でセールス・PR活動を計画し、戦略を見直すことにより時代に合ったPR活動として、動画による情報発信や、SNS等を活用した広告等によるPR等も実施した。</p> <p>併せて、県・市と連携してキャンペーン等、これまでの企画とは違った、創意工夫を凝らした内容を計画し、教育旅行の受け入れ体制の強化やスポーツコミッションと連携するなど、早い段階で市担当者と、手法・手段のための協議を行った。</p> <p>*セールス活動報告            関東(東京)地区【令和7年10月7日(火)～9日(木)】            九州(福岡)地区【令和7年11月27日(木)～28日(金)】            大阪/名古屋地区【令和8年1月20日(火)～22日(木)】</p>
<b>体験型観光推進事業</b>	<p>周遊・滞在型観光地として、いぶすき極上体験プログラムの体験内容を精査して、既存プログラムの見直しを行うことにより、様々な分野の新規体験の開発などプログラム内容を充実させ、観光客のみならず、指宿市民も含めた利用者のニーズに合ったプログラムの開発に努めた。</p> <p>併せて、旅行エージェントとの連携を図り、極上体験プログラムのPR・誘客に努めた。</p> <p>〔既存の体験プログラム数〕            砂むし温泉：1/グルメ：8/体験：9/特産品7 合計：25</p>

事業名	説明
<p><b>広域観光推進事業</b></p>	<p>本年度も鹿児島県で取り組んでいるサイクルツーリズムは県内の観光地を巡るコース設定が行われSDGsを取り入れた新たな観光戦略となってきたことから、本市としても密に連携を図りサイクルツーリズムの推進に努めた。また、「いぶすき広域観光推進協議会」では、南九州市、南大隅町、錦江町と広域連携を図り、より一層「山川・根占フェリー航路」の利用促進並びに、観光地としての拠点づくりを図るよう努めた。さらには、種子島・屋久島への着地型観光の橋渡しとしての積極的な観光受入の体制強化を図った。</p> <p>*いぶすき広域観光推進協議会事業</p> <p>①広報宣伝事業 すみっこ巡りビジュアルコンテストの開催並びに、インフルエンサー等を活用した情報発信や、すみっこ巡りランディングページ作成、並びに、南日本リビング新聞、Instagram への特集記事掲載 等</p> <p>②誘致促進事業 教育旅行のセールス活動。</p> <p>③受入対策事業 菜の花・ひまわりの植栽事業や、観光地のライトアップ事業。</p> <p>④クルーズ船等を活用した周遊促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にっぽん丸 令和7年7月11日(金) 寄港</li> <li>・バイキングエデン 令和8年2月13日(金)・25日(月) 寄港 令和8年3月9日(月) 寄港</li> </ul> <p>クルーズ船式典や観光案内ブースを設置し、おもてなしを行った。</p>
<p><b>観光案内事業</b> (観光客の受入環境整備等)</p> <p>指宿市総合観光案内所 砂案内観光案内所 指宿ビジターセンター</p>	<p>国内観光旅行者へのサービスはもちろん、本市を訪れる多くの外国人観光客のため、指宿市総合観光案内所をJNTO認定の外国人観光案内所として機能させると共に、多言語による観光案内に対応するため、指宿市より観光コンシェルジュを案内所へ派遣していることで、少しずつ戻ってきている外国人対応もきめ細やかな接客に取り組み、それぞれの観光客のニーズに合った案内が出来た。</p> <p>併せて、JR 指宿駅構内にデジタルサイネージを設置していることにより、国内観光客並びに訪日観光客へのサービス向上を図るとともに、旬な情報をいち早く提供することができた。</p>
<p><b>いぶすき菜の花マラソン大会</b> (実行委員会)</p>	<p>第43回 いぶすき菜の花マラソン(令和8年1月11日)開催</p> <p>日本でも指折りの市民マラソン大会である、第43回目となるいぶすき菜の花マラソンを開催した。</p> <p>前回に続き、今回も時折冷たい雨と強い風が吹く中の大会となったが、医療関係者や消防等の万全な準備による安心・安全な環境に加え、雨と防寒対策としてポンチョを配布し、例年と変わらぬボランティアの支援によるおもてなしあふれる大会として、大きな事故等なく、無事に大会を終えることができた。</p> <p>前回大会では、国内最高齢の96歳でのフルマラソン完走という偉業が当地の大会で達成され、その影響もあり、多くのシニアランナーの参加も目立つ大会となった。また、多言語サイトの効果もあり、過去最大の19の国と地域から185名の海外ランナーに参加いただき、国際色豊かな大会となった。</p> <p>エントリー数 10,002名(フルマラソン8,726人、ファンラン1,271人) 当日出走数 8,958人 出走率89.6% 完走者数8,509人 完走率95%</p>

事業名	説明
<b>いぶすき菜の花マーチ</b> (実行委員会)	<p>第34回いぶすき菜の花マーチ(令和8年2月7日~8日)開催            今回は、ふれあいプラザなのはな館をメイン会場とし、日本マーチングリーグの運営規約に基づき運営を行った。また、本大会は指宿市市制20周年記念事業として、例年の大会内容と合わせて100名限定で新企画「スイーツウォーク」を実施した。</p> <p>さらに、かごしま春の三大ウォークである、南さつま市の「鑑真の道歩き」および霧島市の「龍馬ハネムーンウォーク」と連携し、3大会合同スタンプラリーも実施した。</p> <p>述べ参加者数 3,945名 (前回 3,663名)</p>
<b>アロハ宣言セレモニー</b> <b>いぶすきアロハのまちづくり</b> (実行委員会)	<p>アロハ宣言セレモニー(令和7年4月29日)            同時開催 いぶすき遊ぼ海フェスタ</p> <p>市民がアロハシャツ・ムームーを制服として着用することを宣言する「アロハ宣言セレモニー」を開催。指宿漁協を中心とした運営委員会で開催される「いぶすき遊ぼ海フェスタ」と同時開催とし、新たなスポット指宿港海岸(YELLOW COAST IBUSUKI)において、国より指定を受けた「みなとオアシス」の登録証交付式もあり、多くの来場者で賑わった。</p>
<b>いぶすきフラフェスティバル</b> <b>いぶすきアロハのまちづくり</b> (実行委員会)	<p>第22回 いぶすきフラフェスティバル(令和7年6月5日~8日)            指宿のまちをアロハの雰囲気にも染める本イベントを、今回も多数の参加により4日間の長期イベントとして開催した。</p> <p>今回も、メイン会場である指宿総合体育館に、本場ハワイのステージを参考に設計された広いステージを設置し、多数のハワイアンショップ等の出店もある賑やかな雰囲気の中、コンペティション(競技会)や、エキジビション(発表会)、ワークショップ等に、過去最高となるのべ3,238人に参加いただいた。指宿駅前で行う「街角フラ」は、晴天に恵まれ、3年ぶりの開催となった他、「アロハナイトパーティー」は、薩摩伝承館において、美術品に囲まれるきらびやかな雰囲気の中行われ、大変賑わった。</p> <p>また、4日間開催となり、長期の滞在客が増える傾向にあり、街中もハワイアンに身を包んだ方々で華やかな雰囲気となった。</p> <p>エキジビション2,409人(289組)、コンペティション282人(50組)、街角フラ190人(24組)、ワークショップ207人、アロハナイトパーティー150人、のべ参加者数3,238人(前回2,563人)</p>
<b>いぶすき菜の花大使活動</b> <b>いぶすきアロハのまちづくり</b> (実行委員会)	<p>本年度は2名の大使を新たに任命し、前年度からの大使2名を含む4名体制で活動を実施。各地でのキャンペーンやセールス活動の他、いぶすき菜の花マラソンやマーチ等の各種イベントへ指宿の観光大使として参加いただき、積極的なPR活動を通して、当地の観光宣伝や交流を行っていただいた。</p> <p>その他、instagramやfacebook等、SNSでの情報発信にも取り組んでいただき、広く指宿の情報発信に努めていただいた。</p>
<b>地区別宿泊統計作成事業</b>	<p>当協会の目的及び事業の柱である観光客の誘致促進を実現するため、より効果的な活動を行う必要があることから、各宿泊施設及び指宿市や鹿児島県南薩地域振興局と連携を図り、月毎に地域別や種別の宿泊者数等の統計資料を作成。理事会や関係者間で共有するとともに、広く営業やセールス活動の根拠資料として活用していただくため、ホームページにおいても公開し、会員、非会員を問わず閲覧できるよう務めた。</p>

事業名	説明
<p><b>令和7年度交付金事業</b>  <b>「長期滞在を活かした新たな旅行商品開発・販売体制確立に係る専門人材派遣業務委託」</b>  <b>(旅行会社との連携事業)</b></p>	<p>令和7年度交付金を活用した事業として、本年度は共同で長期滞在の旅の受け入れ等を行っている(株)阪急交通社と連携して、旅行商品造成や販売体制確立に関する事業を実施した。</p> <p>その中で、早稲田大学との連携し、「情報通信技術を活用した観光行動分析と体験評価」として、ウェアラブル端末を付けて、市内観光スポットで受けた体験のドキドキ感を数値化して、それぞれ検証を行い、旅行商品造成に活用した他、(一社)九州自然歩道フォーラムとの連携して実施した体験の高付加価値化事業においては、新たに開発した「登山弁当」と登山ガイドを組み合わせた旅行商品を開発、実販売するなど、専門家の知見を活かした取り組みを実施した。</p> <p>また、当協会が自主運営を行っているECサイト「VISIT-IBUSUKI」においても、旅行商品を販売できる体制整備を行った。</p>
<p><b>プラットフォーム整備促進事業</b>  <b>(山川根占フェリー利用促進事業)</b>  <b>(海外誘致対策事業)</b></p>	<p>訪日観光客の増加に対応し、地域の環境整備や観光地としての魅力向上に取り組んだ。県・市・観光関係者と連携しながら、誘客対策を推進するとともに、いぶすき広域観光推進協議会や環錦江湾観光連絡会議と協力し、山川・根占航路の安定運航による広域的な観光圏の形成を目指した。</p> <p>これにより、薩摩半島と大隅半島をつなぐ新たな観光ルートの創出を図れた。</p> <p>また、新しい時代に即した観光や食のブラッシュアップを行い、地域の文化資源を活かした付加価値の高い旅行商品の造成にも努めた。古き良き時代と現代を融合させたコラボ旅行の企画・開発も進めていきたい。今後も、旅行商品の高付加価値化と持続可能な観光資源のさらなる磨き上げに取り組んでいきたい。</p>
<p><b>プラットフォーム推進事業</b>  <b>夢たまプロジェクト事業</b>  <b>観光列車との関連事業</b></p>	<p>今年度は、JR九州と南薩4市のご協力のもと日本最南端の駅「JR西大山駅」の草刈り及び清掃作業を行った。また、指宿市では、指宿の玄関口である指宿駅で地元の高校生によるお茶の振る舞いや当協会では茶節の振る舞いなどで指宿へ列車でお越しいただいたお客様をお出迎えも行った。</p> <p>今後も、より一層JR指宿枕崎線の利用促進に向け進めていきたい。</p>
<p><b>セントラルパーク指宿</b>  <b>(指宿市指定管理事業)</b></p>	<p>指宿市における観光事業の拠点として、観光客にはビジターセンターとしての旬の観光情報の提供に努めた。また、地元市民には公園等でくつろぐ機能、指宿温泉祭や各種イベントによる会場活用を複合的に持った公園・管理棟としての運営を図り、安心安全な市民の憩いの場としての環境づくりに努めた。その他、ドクターヘリのヘリポートとしての整備に努めた。</p>
<p><b>指宿温泉祭</b>  <b>(実行委員会)</b></p>	<p>本年で第78回を迎える「指宿温泉祭り」を盛大に開催した。ハンヤ踊りには2,100名を超える参加者が集い、大変な賑わいを見せた。また、花火大会では皆様からの温かいご支援による花火募金に感謝を込め、2尺玉の打ち上げを行い、来場者に感動を届けることができた。今後も引き続き、市民が参加しやすく、時代に即した企画づくりを進めていきたい。</p>

事業名	説明
<p><b>環錦江湾観光連絡会議</b></p>	<p>県内の錦江湾沿岸地域との広域連携を図り、各種事業における更なる協力体制の構築に努めた。また、環錦江湾観光連絡会議主催によるシンポジウム「錦江湾海上交通～大隅観光の可能性～」を開催した。</p> <p>シンポジウムを通じて、薩摩半島と大隅半島の双方において、相互の往来や周遊が十分に進んでいない現状が共有された。今後は、まず環錦江湾地域内における交流人口の拡大に取り組み、その後、県外客やインバウンド誘客へと展開していく方向性が確認された。</p> <p>併せて、鹿児島県及び鹿児島県観光連盟との連携を図りながら、各種事業を実施し、県全体で錦江湾の魅力発掘と情報発信に努めた。</p>
<p><b>各種行事の協賛等</b></p>	<p>本年度も、「いぶすきフラフェスティバル」、「いぶすき菜の花マラソン」、「いぶすき菜の花マーチ」等のスポーツイベントへの負担金はもとより、「指宿温泉祭」「いぶすき産業まつり」など、祭りや各種イベントへの協賛を行う事と併せて、イベントに協力することで、指宿市民はもとより、参加者やイベント関係者に元気を届けることができた。</p>
<p><b>諸事業及び諸団体への助成及び連帯活動</b></p>	<p>指宿観光受入対策協議会や指宿温泉まちづくり公社（砂むし会館「砂楽」）との連帯を図り、誘客活動に努めた。</p> <p>また、指宿の玄関口ともいえる JR 指宿駅に乘降する観光客、市民のために、駅構内、駅トイレ、駅周辺の美化清掃に努め、「指宿駅周辺を明るくきれいにする会」や、「足湯の清掃」及び、年2回開催される「クリーン指宿市民会議」に於いて、市民に協力を呼びかけ、指宿市内の清掃美化に努めた。</p> <p><b>*いぶすきグルメ祭り（春・秋）事業</b> （実行委員会 事務局：指宿商工会議所） 開催期間中、市内の飲食店において、季節の旬の食材をテーマとした特別メニュー等を各参加店が考案し提供する「いぶすきグルメ祭り」を開催。キックオフイベントや、プレスリリース等行い、県内外の誘客に努めた。</p> <p>○いぶすき秋のグルメ祭り ～伊勢海老と美味しい仲間たち～ 開催期間：令和7年9月6日（土）～10月31日（金）</p> <p>○いぶすき春のグルメ祭り ～桜鯛といぶすき野菜～ 開催期間：令和8年2月1日（日）～3月31日（火）</p> <p><b>*温泉総選挙 表彰式 PR（湯治ウェルネス部門1位・審査員特別賞）</b> 日程：令和7年12月4日（木） 温泉総選挙において、指宿の砂むし温泉が、2年連続となる湯治ウェルネス部門において全国第1位となった他、官民一体となった地域性あふれる各種事業が評価され、審査員特別賞を受賞したことを受け、東京都において実施された授賞式に参加。授賞式では、いぶすき菜の花大使も参加し、地域の情報発信に努めた。</p>
<p><b>指宿市観光経済戦略会議</b></p>	<p>指宿市として策定した「指宿市観光ビジョン」の推進を図り、刻々と変化する環境に対応しながら、市民・事業所・行政が一体となって取り組むべき観光振興に関する施策の方向性を明らかにし、その実現に向けて取り組んだ。</p> <p>今後、コンセプトや基本戦略を基として、各部会で話し合われたアクションプランの具体的政策の実現を目指して取り組みたい。</p>

事業名	説明
<b>いぶすき包括協定</b> 指宿市立指宿商業高等学校	<p>本年度は、いぶすき包括協定を締結している指宿商業高等学校において、当協会主催により、観光ビジネスをテーマとした講演会を開催した。(令和8年2月18日)。</p> <p>講師には、早稲田大学において観光や地域振興の研究に携わる先生方をお招きし、観光産業の動向や地域資源を生かした観光地づくりについてご講演いただいた。</p> <p>当日は、QRコードを活用した参加型プログラムや、VR等の先端技術を取り入れた内容とし、観光分野への理解促進に努めた。</p>
<b>アロハオープンゴルフ</b> (観光協会主催自主事業)	<p>第16回アロハオープンゴルフ大会を令和7年10月8日に開催し、8チーム28名が参加しました。快晴のもと和やかな雰囲気で開催し、数年ぶりに表彰式も行い、協賛企業・団体の協力により充実した大会運営に努めました。</p>
<b>各委員会事業</b> (観光協会主催自主事業)	<p>11月26日の「いい風呂の日」に合わせ、特別イベント「指宿市内各砂むし温泉施設の『砂掛師』研修会及び情報発信事業」を、委員会(受入企画委員会)事業として実施した。</p> <p>研修会は、砂むし会館「砂楽」及び、指宿白水館の砂掛師を講師として招き、それぞれ「スコップ」と「レイキ」を使用した異なるスタイルでの砂掛けの実演を、実技研修として行った他、座学研修として、整備が進む指宿港海岸の調査により分かってきた天然砂むし温泉のメカニズムに関する講習(講師:指宿港海岸侵食対策施設整備検討委員会 委員長 浅野 敏之 氏)及び、砂むし温泉をはじめとした温泉の歴史やこれからの温泉のかたちにスポットを当てた講習(講師:COCCO はしむれ学芸員 松崎 大嗣 氏)を行った。</p> <p>市内の各ホテル・旅館の砂掛師をはじめ、実地研修に50人、座学研修に39人の参加があり、報道等にも多く取り上げられた。</p>